

ひまわり

VOL.20



～年頭のごあいさつ～

新年明けましておめでとうございます。

一昨年の6月にクリニックの院長に就任して約1年半になります。その間透析患者さんは150名前後となり狭いところでの透析を強いて大変申し訳ありませんでした。隣のビル火災、東日本大震災を思い出される地震などが有りましたがスタッフと患者さんの協力で無事切りぬけることができました。

さて、今年の大河ドラマは会津出身の新島八重を主人公にした「八重の桜」です。会津では「ならぬものはならぬ」と筋を通すように教育されています。主人公の八重が鉄砲を構えその言葉を発しながら打つシーンが予告編として流れています。透析に対してもスタッフ全員筋を通す為日頃から知識を吸収し、ならぬものをしないよう心掛けています。八重に負けぬよう今年も安心・安全な透析をしていきます。

最後に、山下達郎さんの「希望という名の光」という歌の歌詞にある“あなたを照らし続ける希望という名の光”になれるよう今年一年スタッフ共々頑張ります。今年もよい年でありますように。



寿泉堂クリニック

院長

熊川 健二郎



寿泉堂クリニック

名誉院長

白岩 康夫

明けましておめでとうございます。今年は巳年、蛇は健康と金運向上の守り神とされています。皆様にとって良い年となるよう願っています。ところで私は年男、年齢は計算してみてください。WHOや日本医師会の蛇マークに因んで皆様の健康を守っていく所存です。

ところで、東日本大震災が発生してから2年になろうとしています。復興は遅々として進んでおりません。復興の鍵はクリーンエネルギーへの転換を図りながら斬新な産業を起こして行くことです。その一歩となる浮体式洋上風力発電の実証研究が樺葉沖で始まっています。2千kW1基と7千kW2基を設置し、電気は東北電力につなぎます。浮体式洋上発電は世界的にも珍しく、7MWは世界最大です。福島復興の牽引車にしなければなりません。

新年あけましておめでとうございます。寿泉堂クリニックに勤務し、早2回目の正月を迎えました。

ところで、本年の7月13日、14日に郡山市において第15回日本アクセスセミナーを開催することとなりました。いわゆるシャントに関して著明な先生方を全国からお招きして講演をいただき、シャントの進歩・向上を図るものです。

バスキュラーアクセスが良好であることが透析患者さんにとってとても大事なことで、このセミナーで得た知識を患者さんに還元し、全国でもトップレベルのバスキュラーアクセス管理を行っていきたいと考えております。今年もよろしく申し上げます。



寿泉堂クリニック

透析センター長

百瀬 昭志



透析とお金

～現況と診療報酬の変遷～

寿泉堂クリニック院長

熊川健二郎

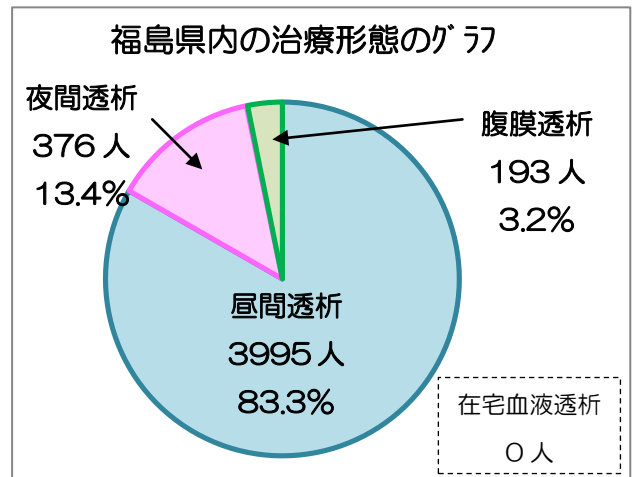
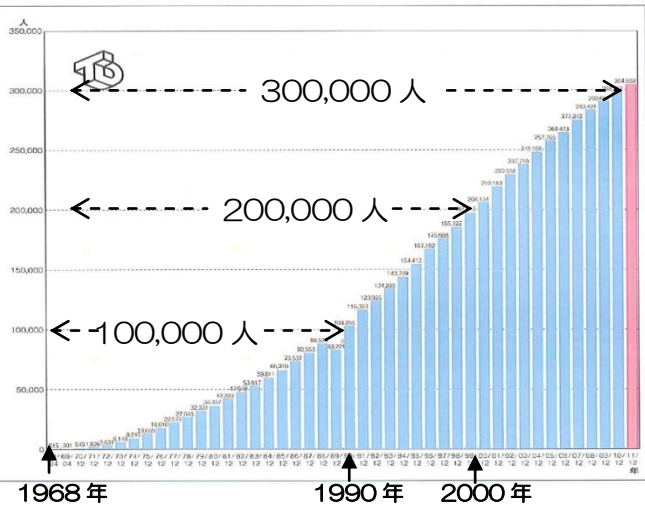
今回の話は、昨年の11月29日に行われた透析忘年懇話会の中で講演したものです。透析に関する制度や日本国内での人工透析療法の変遷が主な内容です。少し難しい内容もありますがぜひ目を通して見て下さい。

●透析患者数の推移

2011年12月31日現在の日本の患者数は
304,592人
 なんと国民の **419.6人に1人**が透析患者である。

●治療の形態

腹膜透析は3.2%減
 夜間透析も0.7%減
 在宅透析患者は全国で327人

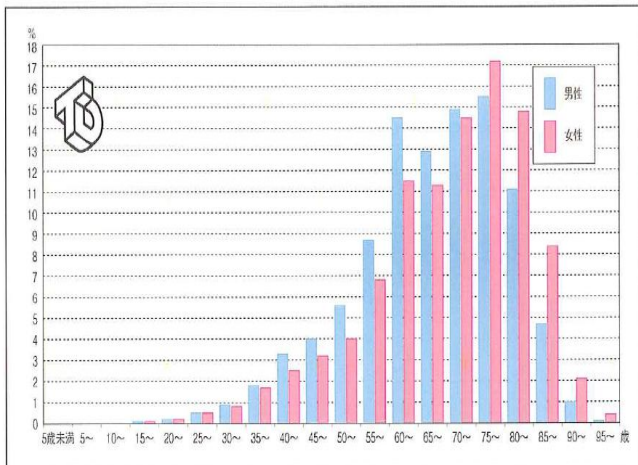


●導入患者の年齢と性別

男性 25,680人 女性 12,712人
 平均年齢 67.8歳

●導入患者の原疾患

近年は圧倒的に糖尿病から引き起こされる
 糖尿病性腎症のために透析導入する人が多い

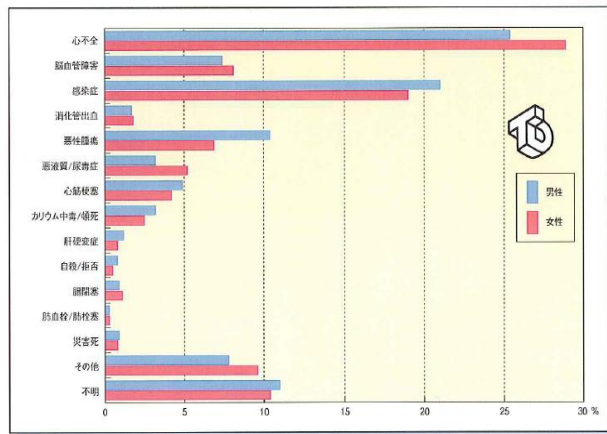


導入患者の原疾患 (2011年)

- ・ **第1位** **糖尿病性腎症** **44.2%**
- ・ **第2位** **慢性糸球体腎炎** **20.4%**
- ・ **第3位** **腎硬化症** **11.7%**

●透析患者の死亡原因

1位心不全 26.7% 2位感染症 20.3%
3位悪性腫瘍 9.1% 4位脳血管障害 7.6%



●我が国の慢性透析療法の要約

透析歴最長の方：43年7か月
透析歴20年以上の方 22,403人

施設数	4,805施設 (30前増 0.6%)
設備	121,835台 (3,213増 2.7%)
透析力	119,802人 (3,083人増 2.6%)
透析力	405,604人 (9,780人増 2.5%)

慢性透析患者	304,692人 (6,340人増)
人口100万別	2,988.4人 (54.3人増)

経路	253,722人 (83.3%)
在宅	40,917人 (13.4%)
在宅血液透析	327人 (0.1%)
施設透析	9,626人 (3.2%)

HFD、HDF等とPCOを用いている患者数	1,909人
血液カテーテルを装着している患者数など	376人
施設透析施設数	176人

導入患者数	38,983人 (1,381人増 3.7%)
死亡患者数	30,831人 (1,949人増 6.7%)

上記の施設別患者数による集計

	男性	女性	不詳	計
5年未満透析患者数	92,641	48,124	3	140,778 (47.8%)
5年以上10年未満透析患者数	46,739	27,070	0	74,709 (26.3%)
10年以上15年未満透析患者数	22,112	15,336	0	37,448 (12.7%)
15年以上20年未満透析患者数	11,057	6,414	0	19,481 (6.8%)
20年以上25年未満透析患者数	5,657	4,834	0	10,601 (3.6%)
25年以上透析患者数	6,393	5,409	0	11,802 (4.0%)

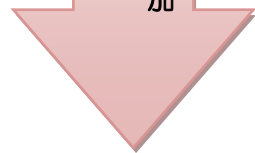
※透析歴別患者数は診療コード2～4より算出
※施設別患者数は診療コードによる集計

●人工腎臓の診療報酬の推移 (抜粋)

※保険点数は1点が10円です。

- 昭和42年 人工透析1回につき技術料920点 +特定治療材料
- 昭和49年 人工透析1回につき技術料2150点 +特定治療材料
寿泉堂総合病院、郡山で最初の人工透析治療開始
- 昭和53年 人工透析1回の技術料が透析時間によって3100点~4100点に変更
- 昭和56年 食事加算：透析中食事をとった場合さらに50点追加
- 昭和60年 導入期加算：透析導入1ヶ月間のみ透析1回につき300点追加
- 平成4年 慢性維持透析患者外来医学管理料の新設(2500点)。血液検査が同管理料に含まれる事となる
- 平成6年 外来透析に使用される透析液・血液凝固阻止剤・生理食塩水が技術料に含まれる事となる
- 平成10年 慢性維持透析患者外来医学管理料引き上げ(2900点)
1ヶ月間のうち、15回以上の人工腎臓の算定ができなくなる。
15回目からは患者の自己負担若しくは病院負担となった。
- 平成12年 慢性維持透析患者外来医学管理料引き下げ(2800点)
- 平成14年 食事加算の廃止
- 平成18年 慢性維持透析患者外来医学管理料引き下げ(2305点)
エリスロポエチン製剤(貧血のお薬)の包括化
- 平成24年 人工腎臓技術料の見直し(引き下げ)
1回の技術料が透析時間によって1580点~2255点に変更
透析液水質確保加算の新設(オンラインHDFが認められた)
透析液内の生菌等を減らす事によって保険点数加算

患者の増加によって医療費も増加
管理料などが引き下げの傾向に。



●外来透析にかかる医療費

外来透析にかかる医療費は年間1兆5000万円

一人あたりの外来透析にかかる医療費

- ・1回 約3万円
- ・1ヶ月 約40万円
- ・1年間 約500万円

●福祉制度①

身体障害者手帳 障害年金 介護保険制度など

特定疾病療養受領証

個人で現在加入中の医療保険若しくは医療保障制度から「特定疾病療養受領証」が交付されます。公付を受けると、医療費の自己負担が1ヶ月1万円（収入により2万円）までとなります。

適応となる「特定疾病」

- ・人工透析を実施している慢性腎不全
- ・血漿分画製剤を投与している、いわゆる血友病
- ・血液凝固因子製剤に起因するHIV感染症

●福祉制度②

重度心身障害者医療費助成制度

重度心身障害者制度は、重度の障害者（身体障害者1～3級所持者）とその家族の経済的負担を軽減するために、医療費を助成する制度です（所得制限あり）。この制度の対象になると、特定疾病療養受領証により自己負担が1万円（または2万円）になった場合についても医療費が助成されます。

自治体によって、自己負担分は免除される場合もあります

●当院の新しい取り組み

最新の透析用監視装置「NCV-2」の導入

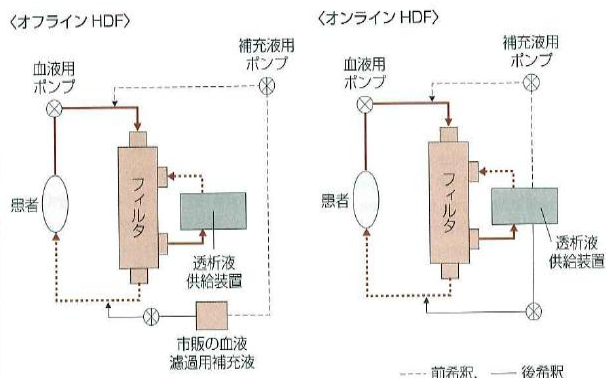
様々な機能を活用し患者さんの不安を減らします

- ・オンラインHDFに対応
- ・自動プライミング機能
- ・自動脱血機能
- ・自動返血機能、液抜き機能
- ・自動補液機能
- ・従来より強化された監視警報・センサー機構

その他

●オンラインHDFの導入

オンラインHDFとは、従来使用していた補充液に代えて清浄化した透析液を使用する方法



●オンラインHDFの適応

今まで悩まされていた症状への効果が期待できます

- ・中、大分子量尿毒症物質の除去効率向上
- ・透析アミロイド症関連の関節痛症状
- ・皮膚掻痒症（かゆみ）
- ・レストレスレッグ症候群、イライラ感
- ・食欲不振
- ・皮膚の色素沈着
- ・透析中の血圧安定
- ・不眠
- ・エリスロポエチン不反応性腎性貧血

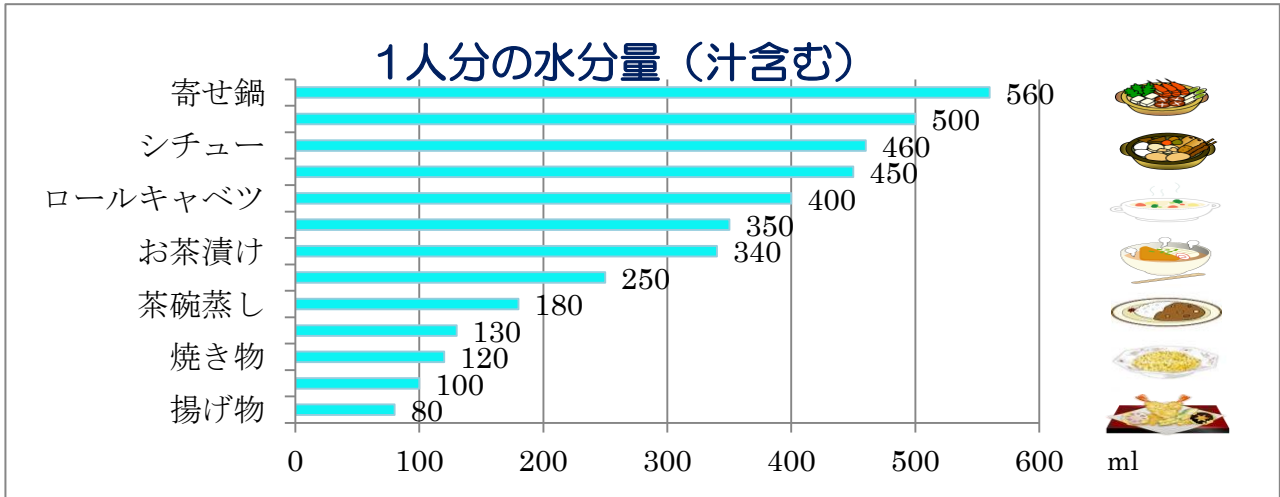
以上が忘年懇話会でお伝えしたものです。皆さんの今後のより良い透析の参考になればと思います。



食品中の水分量について

シチュー、鍋もの、おでんなど温かいものが美味しい季節です。水分の多い食事になりやすいので摂取量や回数に気を付けて食べましょう。

1日の食事の中で揚げ物、炒め物、焼き物など水分の少ない物と組み合わせて上手く調整しながら食べましょう。



◎水分の多い食事の注意点

- ・鍋もの→野菜、こんにゃく、大豆製品など、水分の多い食品のとり過ぎに注意しましょう。
 - ・めん類→つけ汁で食べ、汁は飲まないようにしましょう。
 - ・豆腐料理→豆腐は水を良く切って使用しましょう。
 - ・お粥、雑炊→毎食、毎日は食べないようにしましょう。
 - ・丼もの→材料は先に炒め、だし汁は少なめにしましょう。
- （小川洋史：わかりやすい透析食より）



Xmasあみだくじ当選者発表



日々頑張っている患者さん達にささやかなプレゼントを。。今年もクリスマスプレゼント抽選を開催しました！今回は栄えある1等を引き当てたお二人にコメントを頂きましたよ～☆

思いもしなかった1等賞を頂き、ありがとうございます。コンパクトでキレイな体重計でとても嬉しいです。

かわいい孫達と一緒に毎日体重を測りながら今後も健康に留意していきたいと思います。

5階 日中透析
坂内恵一さん



クリスマス抽選会で1等賞に当選して大変喜んでおります。今までにこのような抽選会で当選した事は有りませんでしたので嬉しかったです。年末グッズを購入しましたので抽選日まで少しの間夢を見て楽しんでいる所です。

本当に有難う御座いました。

4階 2部透析
渡部光雄さん



1等を逃した皆さん！次こそは1等賞引き当てちゃって下さいね♡

第4回寿泉堂クリニック忘年懇話会開催♪

2012年11月29日、姑娘飯店にて寿泉堂クリニック忘年懇話会が開催されました。4回目の開催となった今回は、なんと参加された患者さんの中からスタッフと一緒に司会進行をして頂くという初の試みとなった懇話会でした！

熊川院長による講演からその後の食事会・ビンゴ大会・カラオケ大会の司会に至るまで、御協力をお願いし会場を盛り上げてくれたのは、夜間透析をされている渡部聡さん。スタッフから半ば強引(?)にお願いしたのにも関わらず快く引き受けて下さり、当日は時間を忘れてしまうほどの名司会ぶりで、楽しいひと時を過ごす事が出来ました。昨年に引き続きビンゴ大会、カラオケ大会も大盛況で参加して頂いた皆さんの距離もグッと近づいたと思います。今年も患者さんをどんどん巻き込んで楽しいイベントを催していきたいと思っておりますので、皆さんぜひぜひご参加くださ〜い！！



←↑↑↑ フォトギャラリー ↑↑↑↑

~~~~~編集後記~~~~~  
お正月も終わりましたね。美味しいものを食べた分、徐々に 普段の食生活に戻して行きましょう！！㊦